事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表

記入年月日：令和5年2月28日

		チェック項目	はい	どちらともえいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			国が定める基準以上の広さを確保 感染予防の為、改修で隔離できる部屋確保
	2	職員の配置数は適切であるか	○			国が定める基準以上の職員数を配置
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関に階段あり。 療育部屋も2階にある。（手すりは設置済）
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			目標管理シートを作成し年に2回振り返りを実施してい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様からの意向を把握し、改善できるように会議を その都度実施
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部からの評価はなし
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修補助費支給など研修を推奨している 就業時間内での研修参加も実績多数あり
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			OT・STによる個別評価を実施し客観的に分析し、 支援につなげている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全通所共通の評価バッテリーを導入している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			保育士と専門職（PT/OT/ST）による立案を実施してい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎日、目的・目標を設置し違った活動内容を実施してい
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			療育時間が平日と休日では違ってくるので工夫して 療育内容を検討している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			必要に応じて個別と集団活動を組み合わせて 計画している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日朝から2回ミーティングを行い細かく一日の流れを 確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に話す時間を作り話し合ったり、ノートへ 記入するようにしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録を毎日とるようにしており、改善につなげて いけるように工夫している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年に2回は必ずモニタリングを実施している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインを遵守して支援を行っている

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には児発管と担当職員が必ず参加するようにしている
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			利用児の送迎時に担当の先生と話をしたり連絡調整を行っている。 学校からのプリントは保護者様より頂いている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			契約医療機関と提携している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			以前の情報などを共有してもらっている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	対象が小学校低学年であるため対象児がいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		オンライン研修などに積極的に参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍により交流の機会を得られなかった
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			長崎市こども部会への参加をオンラインなどで行った
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			電話や送迎時に日々の状況をお伝えしています。 LINEでも写真や動画を毎回送って共有しています
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者からの相談があった場合や必要と判断した場合は実施している
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			面談時に説明を実施しています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があれば面談もしくは電話にて支援を実施
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		コロナ禍であるため利用児の1年間の成長を動画にして保護者に送っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口を設け対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			やながわ新聞を定期的に発行している
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いには十分気を付けている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			口頭でのお知らせだけでなく文書としてお知らせしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ禍であること、また個人情報等の問題もあるため積極的には行っていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員には研修を実施。保護者様にはHPに掲載しているので周知案内を出している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			国で定められた頻度の訓練実施 保護者様は電話での参加をしていただいた。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待・身体拘束防止委員会による研修を実施している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束の実績なし 虐待・身体拘束防止委員会による研修を実施している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			個別のアレルギー表を作成している。 保護者にもその都度確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎年、法人内アクシデント・インシデント研修会開